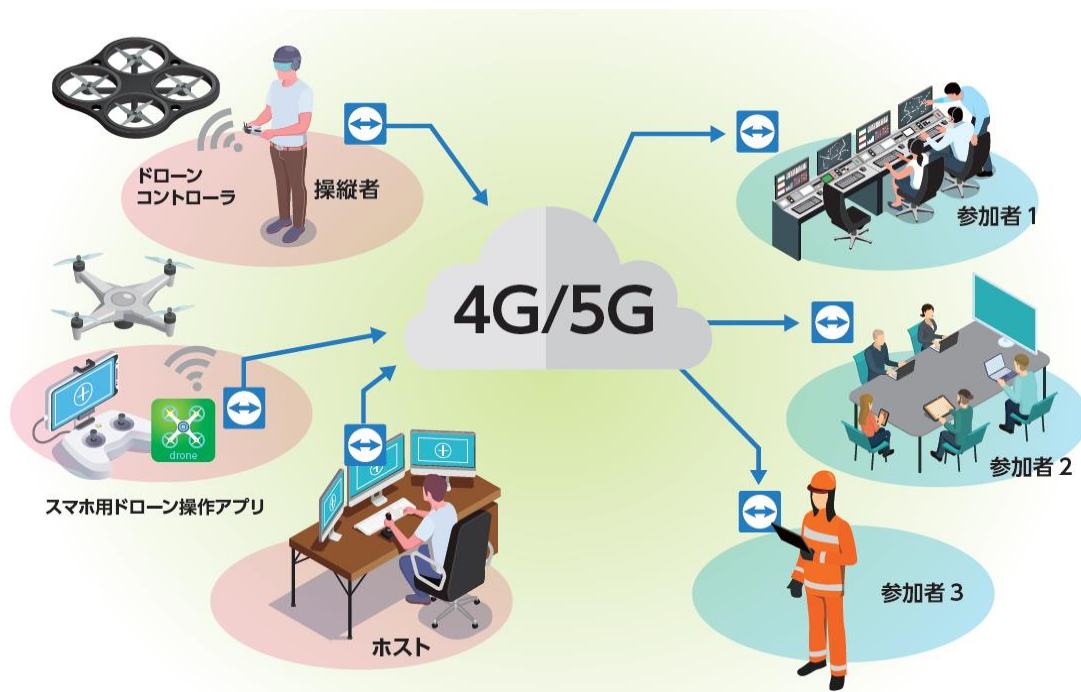


# 空撮映像などをリアルタイムに共有できる リモート接続ソリューション「TeamViewer」と ドローンのセット販売を開始

～共同での空撮映像のリアルタイム共有に向けた実証実験に成功～

SB C&S 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:溝口 泰雄、以下「SB C&S」)は、TeamViewer ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、カントリーマネージャー:西尾 則子、以下「チームビューワー」)が提供するリモート接続ソリューション「TeamViewer」とドローンのセット販売を2022年3月8日から開始します。

「TeamViewer」は、複雑な設定が必要なく接続先のIDとパスワードを入力するだけで、簡単にリモート接続して遠隔操作ができるリモート接続ソリューションです。「TeamViewer」をドローンと組み合わせて使用することで、空撮したデータをダウンロードせず、映像をリアルタイムに遠隔地へ共有することができます。



昨今、ドローンを活用した空撮において遠隔地からリアルタイムに映像を確認し、操縦オペレーターへ直接指示を出したいというニーズが増えている中、2021年12月にSB C&Sとチームビューワーが共同で実証実験を行い、ドローンが撮影した広角カメラの映像や赤外線カメラによる温度測定映像に加え、遠隔地からの指示音声を「TeamViewer」を通じてリアルタイムに相互の情報共有が可能であることが実証されました。

今後は、人の立ち入りが困難な災害現場やインフラ点検現場などを遠隔支援するリモート接続ソリューションの実用化が期待できます。

SB C&S は、2017 年より法人向けにドローンの活用を支援するポータルサイト「DroneBank（ドローンバンク）」(<https://dronebank.jp>) をオープンし、ドローンの法人利用促進を支援しています。今回の実証実験の成功をふまえ、「TeamViewer」とドローンをパッケージにした独自のソリューションを提供することで、ドローン活用の可能性を広げ、お客さまが抱える課題解決に貢献します。

### 【セット内容】

#### 多拠点配信 基本セット

- ・ MATRICE 300 RTK
- ・ 充電用バッテリーステーション
- ・ 送信機用モバイル通信 Dongle
- ・ ドローン映像配信向け TeamViewer ライセンス

#### 多拠点配信 災害対応・点検用途向けセット

- ・ MATRICE 300 RTK
- ・ 充電用バッテリーステーション
- ・ 送信機用モバイル通信 Dongle
- ・ ZENMUSE H20T
- ・ 追加バッテリー（4 個）
- ・ ドローン映像配信向け TeamViewer ライセンス

### 【価格（税込み）】

#### 多拠点配信 基本セット

1,412,752 円

#### 多拠点配信 災害対応・点検用途向けセット

2,896,487 円

### 【製品の詳細】

<https://dronebank.jp/>

### 【製品に関するお問い合わせ】

ドローン担当窓口

[sbbmb-dronecenter@g.softbank.co.jp](mailto:sbbmb-dronecenter@g.softbank.co.jp)

### TeamViewer（チームビューワー）について

チームビューワーはリモート接続プラットフォームのグローバルリーダーとして、デジタル化を推進するあらゆる規模の企業を支援しています。リモート接続ソリューションである『TeamViewer』は、PC、モバイル端末、工場の機械やロボットなどのデバイスと人、そして場所や時間を問わず世界のユーザーとの接続を可能にし、セキュリティの高いリモートアクセス、サポート、コントロール、コラボレーション機能がいかなるオンライン上のエンドポイントでも利用可能です。個人向けには無償で提供しており、現在 62 万人以上が登録。法人は中小企業から大企業まで多様な業種で利用されています。チームビューワーはデバイスの分散化、自動化、ニューノーマルといった環境の変化に柔軟に対応しながら AR、IoT、AI の分野での DX やイノベーションを主導しています。会社設立以来、『TeamViewer』がダウンロードされているデバイスは現在 25 億台に達しています。TeamViewer ジャパン株式会社は TeamViewer の日本法人と

して 2018 年に設立されました。日本法人のウェブサイトはこちら (<https://www.teamviewer.com/ja/>) をご覧ください。